

御牧の郷だより 第12号

発行 御牧ふれあいの郷づくり協議会 編集 広報部会 発行年月日 平成29年11月

♪北御牧小学校校内音楽会♪

10月20日北御牧小学校の校内音楽会が行われました。

澄んだ歌声のすばらしい合唱。力強い合奏。すてきな時間があったという間に過ぎていきました。半年前まで保育園で飛び回っていた1年生の成長も目を見張るものがあり、各学年年々上達していく様子がとてもうれしく、6年生は小学校の総仕上げということもあり、心に残るすばらしい斉唱、合奏でした。



最後の全校合唱では生徒の皆さん全員がステージ側に並んでの大合唱でそれはそれは圧巻でした。



2年生のひょっこりひょうたん島の合奏には、ひょうたんマスカラに色付けした天空の芸術祭参加アーティストがいっしょにマスカラを演奏しました。

もくじ



P.1 北御牧小学校校内音楽会

P.2~3 天空の芸術祭2017を終えて

P.4 地域の活動から 生涯学習作品展



天空の芸術祭2017を終えて

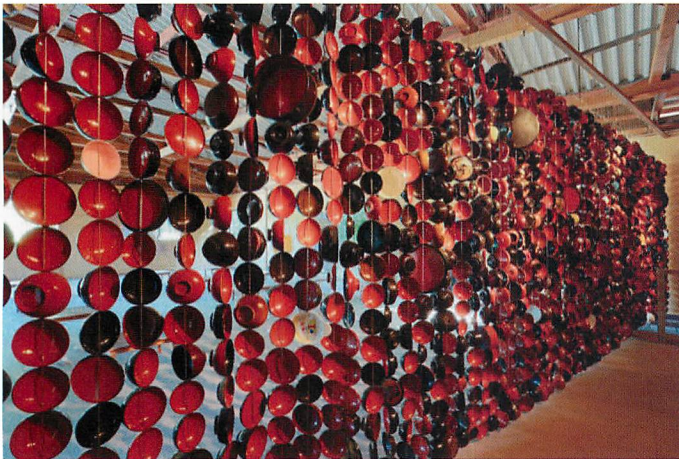
事務局 森 健太郎

10月29日をもちまして、天空の芸術祭2017が終了しました。地域の人々に芸術に触れ合っただけでなく機会を作るとともに、地域資源の再活用により地域内外の交流を促進し、地域の活性に向けた新しい視点を作ることを行われた本事業ですが、多くの方々の協力のおかげで、無事に最終日を終えることができました。ご協力いただいたみなさま、見守っていただいたみなさまに、この場を借りて御礼申し上げます。

今年は、40近い作家や団体を迎え、北御牧地区全体で開催しました。みなさま、ご覧いただけましたでしょうか。東京芸術大学の学生だけでなく全国で活躍するプロの現代アート作家や地元の作家、団体の参加もあり、バリエーションの豊かな芸術祭になりました。

今年のテーマは「生活は芸術だ！」です。地域の文化や生活様式をテーマに作品を作る作家が多く参加していました。実際に地域に長期滞在して製作する作家もいて、まさに「生活は芸術」な芸術祭となりました。

芸術、アートと聞くと、遠く離れた別の世界のことと感じる人も多いでしょう。しかし、本当はそうではありません。私たちの生活の中にこそ芸術の“種”があるのです。ご来場いただいたみなさまには作品を通じて感じていただけたのではないのでしょうか。



作家の越後正志さんは、地域のおもてなし文化である「おとりもち」をテーマに作品を作りました。

地域の人々の協力のもと、たくさんのお碗を集め作品にしました。作家も地域に住み込み、いろいろな人の話を聞いて地域の文化を調査していました。

最終日には住民の方が「今日で終わりか。さみしくなるね」と声をかけていたのが印象的でした。

川沿いエリア 真田建築事務所の越後正志さんの作品

越後正志さんの作品制作のための映像撮影には、地域の多くの方が参加しました。

真田建築事務所にて



越後正志さん(左の黒いシャツの男性)から説明を聞く参加者のみなさん。



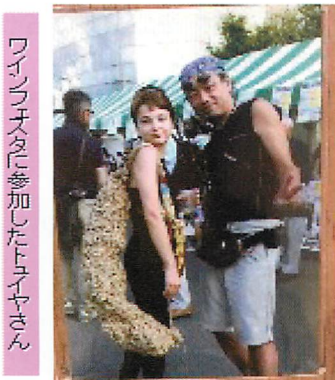
今年の新たな取り組みのひとつに、シンポジウムがありました。10月22日(日) 午後2時より北御牧庁舎2階の和室で開催しました。

「天空のシンポジウム」と題されたシンポジウムでは、アーティスト・グループ「いばや」の「まゆ ちゃば うおにか」さん、「カヤノヒデアキ」さんの2名が中心となり、芸術祭参加作家、住民代表者とのトークイベントを行いました。

「いばや」のお二人は、一ヶ月以上地域に住み込み、木や御牧地域のいろいろなことを体験し、問題提起と提案を行ってくれました。

田んぼの工作に都会の若者の視点を活かすことはできないか、世界で注目されている日本の“カワイイ”文化を使えないか、大変キツイというイメージをいかにポジティブに変えていくか…様々な視点での提案が、具体的な事例とともに紹介され、非常に興味深い会となりました。

農作業の合間に漬物でお茶。いばやのみなさん。



フィンランドに参加したトイヤさん

SKY AIR事業では、フィンランドからTuija Teiska(トイヤ ティスカ)さんが8月下旬から芸術むら公園に宿泊滞在して作品の制作発表を行いました。Tuijaさんが自分の作品を担いでお祭りに参加している姿をご覧になった方もいらっしゃると思います。お祭りで撮った写真が作品の一部として展示されていました。

保科邸の茅葺作業の合間の一休み。初めて会って、いっしょに汗を流してお茶すれば、もう友達！



今年の芸術祭も全国各地からご来場いただきました。地域を知っていただく良い機会になったと思います。

途中台風で一部作品が破損してしまうアクシデントがあったことに加え、会期の半日が悪天候という状況ながら、大きな事故もなく終えられたことは、ひとえにご協力いただいたみなさま一人一人の想いがあってこそだと思います。

今回、新しいつながりがこの地にできたことを強く感じました。作家と地域の人とのつながりはもちろん、全国各地の芸術祭関係者が視察に訪れたり、国外向けの雑誌から取材があるなど、既存のものとは違う新たなネットワークができ始めています。芸術祭を通じて新たな人の縁ができあがっていくことを非常に嬉しく感じています。

今年の芸術祭は終了しました。

事務局として、これから地域に「生活」が絶えぬことを、「アート」がその一助になり「これから」を考えるきっかけになれば、これ以上の喜びはありません。

今後もしもご指導ご鞭撻ご最良のほど、よろしく願いいたします。

協力していただいたすべてのみなさまへ感謝！

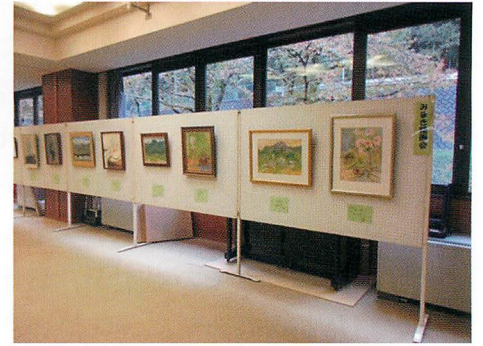
そして、天空の芸術祭2018へ…

第14回北御牧地区 生涯学習作品展

10月28日(土)・29日(日)、北御牧庁舎と公民館にて生涯学習作品展が行われました。
生涯学習講座、サークル、保育園、小中学校、一般のみなさんの力作が410余点展示されました。



茶道教室によるお茶会コーナーが29日(日)に行われました。

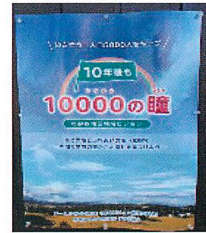


「チーム10000の瞳」の活動から

チーム10000の瞳では、各地区に出向き地域ビジョンの説明会を開催しています。11月5日(日)には、大日向区の役員会でお話しさせていただきました。

ポスターを作りました。北御牧区全域でこのポスターを貼りたいと思います。貼ってもいいよ!という方、北御牧庁舎でお受け取りください。

北御牧中学校で地域ビジョンについてアンケートを実施しました。詳しくは、御牧の郷だより13号(1月16日発行)にて特集をいたします。



ポスター、みんなで貼ろう!



北御牧データバンク
(10月31日現在)

総人口 4906人(+8人)
10000の瞳まで94人!
男 2419人(+2人)
女 2487人(+6人)

転入 16人
転出 5人
出生 1人
死亡 4人

()内は9月30日との増減

* 転出ならび転入は他市との統計のみとなり、東御市内のものはふくまれません。

天空の芸術祭Sky Toursで“むらあるき”

畦田区の岩船地藏尊 →



↑ 中八重原区の御嶽神社



あいにくの天候でしたが、10月14日(土)は御牧原6時間ロングウォーク(御牧原てらすでのランチも含む)、15日(日)は八重原オリエンテーリングを実施しました。歩くからこそ見える景色、名所、作品を堪能しました。

途中下車してフラッと“むらあるき”! みなさまもいかがですか?

企画実施、ご参加いただいたみなさまに感謝いたします。

生活環境部会健康福祉部 副部会長 岡田 真平

編集後記: 霜の降りた田んぼに朝日が当たり美しく輝く季節になりました。雪の便りもそろそろ聞こえてきます。風邪など引かれませぬように、みなさま暖かくしてお過ごしください。(T.M)

お詫び
号外にてご紹介した作家のお名前に間違いがありましたので、訂正してお詫びいたします。
Tuija Teiskasさん→Tuija Teiskaさん
一之瀬健太さん→一ノ瀬健太さん
名前の空欄→Lesse Hogan & Anna Gabrieleさん
安藤孝治さん→安藤孝浩さん
保科亭→保科邸
北真田事務所→真田事務所